

.....人麻呂の羈旅歌8首に導かれながら.....

稲美町郷土資料館
万葉の森



万葉の森のあづまや

名くはしき
稲見の海の
沖つ波
千重に隠りぬ
大和島根は
柿本人麻呂

いなみ野
万葉の森

万葉歌碑6首
万葉の森 賛歌碑3首

皇後の話は 古事記
日本書紀よりも播磨風土記の方が
詳しいです。大和にとってこの地が
いかに重要な所であったかを
計り知ることができます

皇后は
ここで双子を産み
ここで亡くなって
いるんですよ

稲日太(大)郎姫 日岡御陵
いなびのおおいらつめ

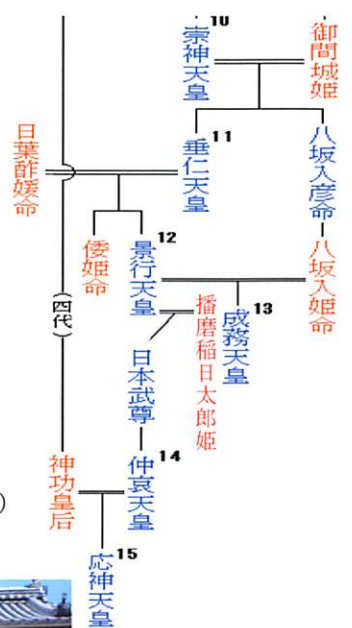


日岡山公園地図



船の転覆で皇后の遺体が
印南川(加古川)に流れ
後で見つかった「ひれ、くしげ」
を葬ったのでひれ墓とも言う

加古と日岡
この岡が鹿の子がうずくまっ
ている姿に似てるから鹿児(加古)
鹿が「ひひ」と鳴いたから日岡



日岡神社

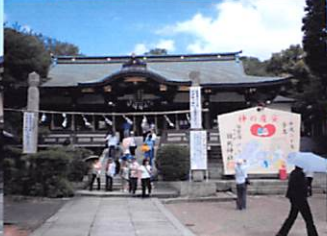


諸願成就、安産祈願
大碓、小碓(ヤマトタケル)
誕生絵馬

日岡陵から階段や坂を
降りたら神社の本殿横
に出ました。



内拝殿 本殿



外拝殿



門の中に隨身様がおられました

明石 柿本神社(人丸神社)



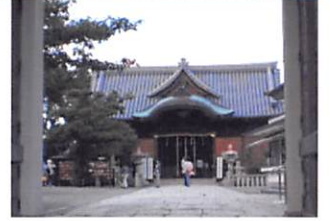
この左側、天文台入り口



柿本神社より明石海峡、淡路島を望む

松帆の浦

野島の崎



学問 安産、縁結び
火除けにご利益



御神木の筆柿
親指の先位の実



柿本神社の隣は明石天文台

天ざかる
鄙の長道ゆ
恋ひ来れば
明石の門より
大和島見ゆ
人麻呂歌碑 境内

淡路島SAから明石須磨方面を望む



松帆の浦方面 緑の道しるべ ミニ灯台横でバス停車



藤江の浦方面

玉藻刈る
海人娘子ども
見に行かむ
舟楫もがも
波高くとも
笠の金村
松帆の浦詠む

朝風に
楫の音聞こゆ
御食(みけ)つ国
野島の海人の
船にしあるらし
山部赤人

このように藻塩を
焼いていたんですね。
海人娘を、貴族の金村が
本当に恋しく思って詠んだの
ではないんです。あくまでも
歌なんですよ



貴船神社遺跡

野島も古くから
海人集団の根拠地で
漁労や製塩を生業と
していた。



野島の
平林大川公園
藻塩焼きの様子を再現した像

野島の海人像



大川公園に別れを告げて



明石海峡大橋より 左 松帆の浦



燈火の
明石大門に
入らむ日や
漕ぎ別れなむ
家のあたり見ず
柿本人麻呂